

平成 17 年 12 月 15 日

各 位

株式会社USEN

総合コンテンツファンドの共同設立に関する合意について

～ Media Contents Companyを目指して～

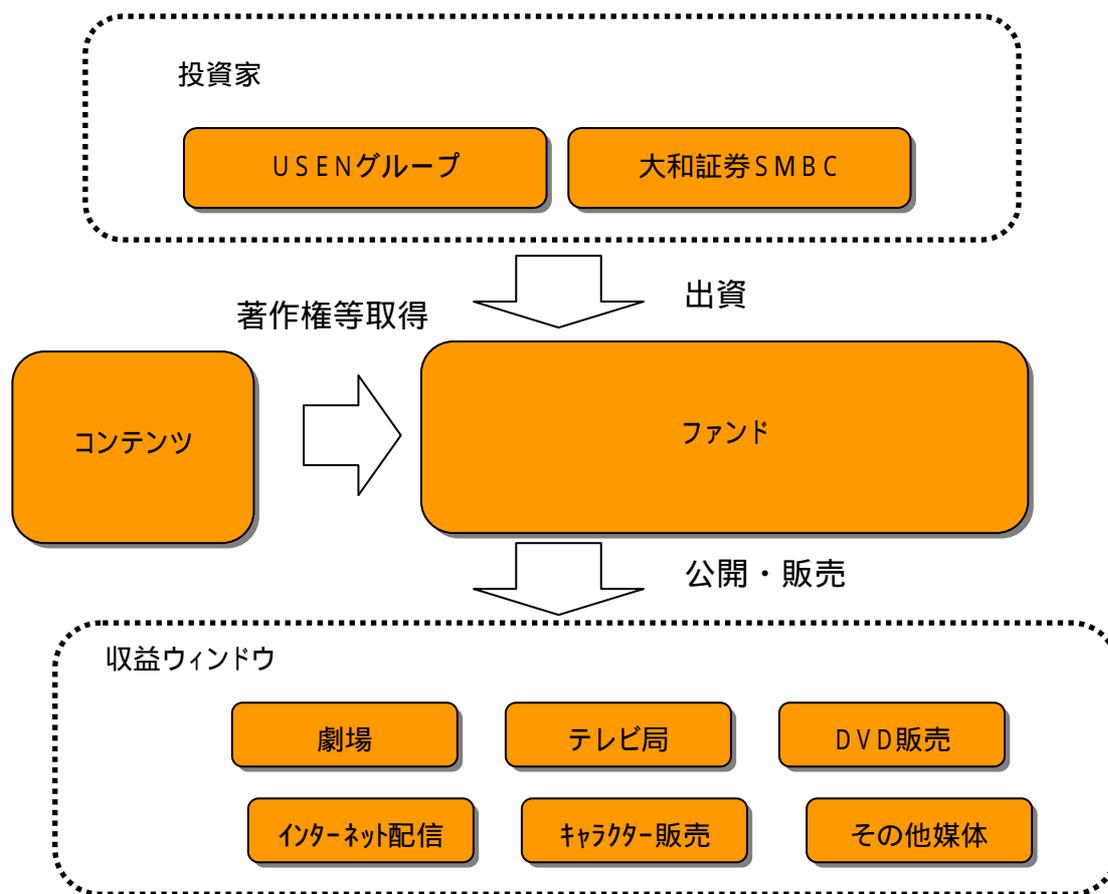
本日、株式会社USEN（以下：USEN）及びUSENグループは、大和証券SMB C株式会社（以下：大和証券SMB C）と映像・音楽を主とした幅広いジャンルのコンテンツを投資対象に300億円を上限とするファンドを共同で設立することに関して合意したことを発表いたしました。コンテンツファンドの設立により、USENグループが持つ映像・音楽など幅広いジャンルのコンテンツビジネス分野における事業ノウハウと大和証券SMB Cの持つ金融ソリューション能力を融合させ、事業面・資本市場面からコンテンツビジネス産業の拡大をサポートし、わが国のコンテンツビジネスの振興への貢献にも寄与することを目的とします。

ファンドは、平成18年2月上旬を目処に「投資事業有限責任組合契約」を締結し、出資金の払い込みにより設立する予定となっております。

ファンドの存続期間は10年間とし、映像・音楽等の幅広いジャンルのコンテンツビジネスに強いUSENグループと、金融ソリューション能力に優れている大和証券SMB Cがそれぞれ50%ずつ出資する予定です。また、将来的には一般投資家からの資金を募ることも検討しております。

ファンドは、300億円を上限として資金を集め、その資金を元に、各出資者から集まった諮問委員会の審査を経て、映画・ドラマ・アニメ・携帯コンテンツ・音楽等のコンテンツの著作権等の取得を目指します。

著作権を取得した作品を劇場や放送局などのメディアへの公開や販売、「GyaO(ギャオ)」や「ショウタイム」などのグループ内のメディアを通じて公開することにより、収益の確保を図ってまいります。



USENおよびUSENグループでは、「Media Contents Company」として長期的成長を目指す方針に基づき、本年4月より完全無料のプロードバンド放送サービス「GyaO(ギャオ)」を開局し、その視聴登録者数は12月14日に500万人を突破いたしました。

また、海外映像コンテンツの使用権の買い付け、配給及びライセンスの管理を行なう株式会社ギャガ・コミュニケーションズ、携帯電話向けアプリケーションソフト等の企画・開発を行なうKLab株式会社の連結子会社化、音楽・映像ソフトの企画・製作、製造及び販売を行なうエイベックス・グループ・ホールディングス株式会社の持分法適用関連会社化などを行なっております。

今後は、本日発表のファンドを通して、更により良いコンテンツの獲得、製作を目指し、コンテンツビジネスの発展に寄与していくと共に、「GyaO(ギャオ)」などのメディアと合わせて、21世紀のメディア+コンテンツのコングロマリット、「Media Contents Company」を目指してまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ】
 広報担当 小林・岡根
 TEL : 03-3509-7104 FAX : 03-3509-7103
 E-mail : public-relations@tk.usen.co.jp
 IR担当 梅原・島村
 TEL : 03-3509-7105 FAX : 03-3509-7113